

曲目の紹介

今回の演奏会は、“北欧シリーズ”として、シベリウス・グリーグという北欧の2大作曲家のみの作品を採り上げている。

フィンランドの作曲家J. シベリウス（1865～1957）とノルウェーの作曲家E. グリーグ（1843～1907）はともに、北欧における祖国独立に大きく寄与した国民的英雄と讃えられているが、その作風は極めて対照的である。シベリウスは今回採り上げる“交響詩フィンランディア”“交響曲第2番”に代表されるように、交響曲・管弦楽曲を中心とした大規模な作品を多く残し、作風は暗く神秘的であるが時として狂暴的とも感じられる激情性をもちあわせている。一方、グリーグはピアノ曲を中心とする小規模な作品（叙情小曲集など）が大半であり、作風もおしなべて叙情的で穏やかであると言える。

今回採り上げた3曲は、いずれも両大作曲家の個性が滲み出たような作品であろうと思う。

J. シベリウス作曲“交響詩フィンランディア”（作品26）

最初に演奏するこの曲は、シベリウスの最も代表的な作品の一つであるとともに、当西高OBオケでもこれまで何度も繰り返し採り上げており（西高校歌に次ぐ演奏回数である）、ここであえて解説するまでもありません。

この交響詩は、題名からも明かなように、作曲された1899年当時、フィンランドは帝政ロシアの支配下であり、その圧政に苦しめられていた時代背景の中で、フィンランド国民の民族的精神、愛国心を感動的に表現したものである。作品全体にただよう悲愴感、重苦しさ、激情性は、祖国独立の気運を鼓舞するに十分な役割を担ったことは想像に難くない。なお、“フィンランディア”の旋律は、無伴奏合唱曲としても演奏されることが多く、いわば第2の国歌的な存在に位置付けられている。

（演奏時間：約10分）

E. グリーグ作曲“2つの悲しき旋律”（作品34）

グリーグの代表的な作品としては、劇音楽“ペールギュント”（全曲ではなく組曲として演奏されることが一般的である）、ピアノ協奏曲イ短調（シューマンの亜流と揶揄されることもある）などがあるが、その他には組曲“ホルベアの時代から”を代表として、ピアノ曲や歌曲からの編曲を含め、極めて美しい旋律による弦楽合奏曲がいくつかあり、今回採り上げる“2つの悲しい旋律”もその中の一つである。

第1曲目は、“傷ついた心”、第2曲目は“春”と題されている。お聴きいただければお解りになると思うが（ただし、演奏が巧ければではあるが）、旋律・構成ともに単純ではあるが非常に叙情的で美しい曲である。グリーグの弦楽合奏曲にはこのほかにも、“2つの北歐的旋律”（作品63）など、大作ではないが情感溢れる美しい作品があるので、これを機会に是非お聴きいただければ幸いである。

（演奏時間：約12分）

J. シベリウス作曲“交響曲第2番二長調”（作品43）

シベリウスは、生涯に8曲の交響曲（番号付き交響曲7曲のほかに“クレルヴォ交響曲”）を作曲した。彼は92歳という長命の作曲家であったが、60歳以降はほとんど作曲活動を行わず、交響曲に関する作曲期間は1892年（27歳）から1924年（60歳）であり、今回取り上げる“第2番”は1902年（36歳）に完成された作品である。

シベリウスの交響曲の中では、この“第2番”が最もポピュラーであり、聴き易さといった面からみても、この曲が1番、その次に“第1番”であろうと思う。尤も、筆者は一応交響曲全集を持っているものの、この2曲以外はほとんど聴かない。理由は、筆者の耳には難解に聴こえるからであり、“第1番”、“第2番”についても耳に馴染めるようになるまでややしばらく時間を要したくらいである。

熱狂的なシベリウスファンである同期のH. I. 曰く「シベリウスの神髄は第4番、第7番だ」と、筆者の苦痛におかまいなしに随分と聴かされたものであるが、筆者は未だにその境地に達することなく現在に至っている。” 渋さ“、” 枯れた境地 “こそがシベリウスの本質なのであろう。

さて、“第2番”に話を戻すが、西高OBオケでは初めての挑戦である。シベリウスの交響曲の中では例外的に明るい雰囲気を漂わせており、“フィンランディア”張りに管楽器が活躍する場面が多いなど、メンバーからのリクエストが多く、今回これに答えて選曲されたものである。

曲は4楽章からなるが、後半の3～4楽章は続けて演奏される。この楽章構成からのみ見れば、ベートーヴェンの第5交響曲の構成に類似しているが、この交響曲は各楽章が極めて幻想的であり、4つの交響詩を重ねたような流れとなっているようにも見受けられる。とりわけ、第4楽章は、西の地平線に沈む夕日に向かって車を走らせているときに聴くと、これ以上の感動はなかりとう思う。なお、演奏は極めて難しく、リハーサルのほとんどをこの曲に注いでいるとお考えいただいて結構である。

（演奏時間：約47分）